

2017年7月13日

株式会社 リクルート ジョブズ

全国47都道府県の農業法人・自治体が東京・大阪に集結 就農イメージが掴めると、若年層からの反響多数 『新・農業人フェア』を7/23（日）から随時開催 初参加でも迷わない「ナビゲートカウンター」を初設置 女性のための農業相談及びアルバイトブースも登場！

株式会社リクルートジョブズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：柳川 昌紀）は、「農業」に関わる仕事に関心を持つ学生・社会人及び求職中の方を対象に、就農イベント『新・農業人フェア』*1を、農林水産省の補助事業として主催・運営しています。今年初となる『新・農業人フェア』は、東京国際フォーラムにて、7月23日（日）に開催いたします。

近年、39歳以下の若年層の就農*2や、農業関連事業の女性の起業が増加傾向*3にあるなど、就農への興味関心は幅広い層に拡がりを見せています。毎年、来場者数が増加している本フェアにおいても、20～30代の若年層の来場者は半数以上、また「初」来場者は全体の75%を占めています。参加者からは、「リアルに就農イメージが掴める」「なんでも相談できる」など多くの声を頂いております。

*1 後援：農林水産省、厚生労働省 協賛：全国農業会議所・全国新規就農相談センター、日本農業法人協会、日本政策金融公庫



昨年度『新・農業人フェア』東京会場の様子



『新・農業人フェア』に参加し、農業法人への就職が決まった大学4年生

◆2017年度の『新・農業人フェア』の特長

全国の農業法人・自治体が一堂に会する会場において、“就農”に特化したマッチングイベントとなる本フェアは、今年度、東京と大阪にて計7回開催いたします。就農イメージを具体的に持てるよう、フェア来場時だけでなく、来場後のサポート体制も整えました。

①初登場「ナビゲートカウンター」で希望者にブースのまわり方をアドバイス

会場内に設けられた「ナビゲートカウンター」では、農林水産省及びリクルートジョブズのスタッフが、希望者に出展ブースのまわり方やフェアの有効な過ごし方を個別にアドバイスします。農業に興味を持ったきっかけや不安点を再整理するための「ナビゲートシート」も用意。より効果的な情報収集の方法もお伝えします。初めてフェアに参加される方も、「どこをまわれば良いのか分からない」といった不安が解消され、貴重な1日をより有効にお過ごしいただけます。

②「女性×農業」女性のための農業相談ブースやアルバイトブースが登場！

農業に興味があり、これから農業を目指したいという女性に向けた「相談ブース」を設置。実体験をベースとした女性の強みを活かせる農業の事例等を具体的にご紹介します。また、アルバイトとして農業を始めたい方向けのブースも設置。希望者には受け入れ先の情報もご提供します。この2ブースを加え、今年度はより多様な農業への関わり方を提案していきます。

*3 平成27年の女性の認定農業者数の割合は、平成27年は4.5%で、10年前に比べて2.3%上昇するなど年々増加傾向にあるほか、販売農家の約半数で女性が経営方針の決定に関わるなど、農業経営や起業活動への女性の参画の動きが高まっています。

(参考資料：農林水産省「2015年農林業センサス」、「農業経営改善計画の営農類型別認定状況」)

③来場後のフォローアップを強化！メルマガ登録で就農に役立つ情報をお届け

今年度より、来場者の次なるステップを応援・フォローするための情報配信をスタートします。メルマガ登録をいただいた方に向けて、フェア開催の告知や各地の体験会・相談会などのイベント情報をいち早くお届けし、農家や学校の体験・見学など、来場後に踏み出す第一歩を後押しします。(※Instagram・Twitterも新規開設)

その他、農林水産省のFacebookでもイベント情報をお知らせします。

<ご参考>

◆来場者の声:

「いつかは独立して農業を始めたい」「就職・転職先として農業を考えたい」「農業に興味があるが、何から始めればよいかわからない」など、農業や就農に関心を持つ様々な方が来場する本フェアでは、来場者から多くの感想が寄せられています。

小板橋 友幸さん (21歳)

埼玉県出身 法政大学法学部 4年生

もともと農業で起業したいとの思いがあり、大学3年生だった2016年12月に「新・農業人フェア 就転職スペシャル!」に来場。本フェアを通じて複数の農業法人を見学、インターンも経験する。来春、香川県の農業法人に就職予定。将来は、農業での独立を考えている。

メッセージ:

『新・農業人フェア』には農業に関わる仕事を探す環境が整っています。実際に次へのステップを踏み出すかは自分次第ですが、フェアはそのきっかけになるはず。私は参加してみて「地域の選択肢が広い」「農業を始めるまでのプロセスが分かる」点が魅力だと感じました。実際に農業をしている人の話を聞くとイメージが変わるので、迷っている方はまずフェアに行ってみることをおすすめします。



<以下、2016年度『新・農業人フェア』東京・大阪開催の来場者アンケートより抜粋>

- ・たくさんの方に様々なことを聞いて勉強になりました。まだ高校生で先のことは分かりませんが、じっくり考えようと思います。(10代・男性)
- ・行きたいところが少し定まってきて、お話も聞けたので大満足です。ありがとうございました。(10代・女性)
- ・応募から採用までの具体的な内容と、作物の栽培方法について詳しく聞いて良かったです。(20代・男性)
- ・各県の方に相談できて、就農へのイメージが明確になりました。(20代・女性)
- ・出展者は良い人ばかりで勉強になることばかり。はじめ、農業を始めるのはハードルが高いと思っていましたが、実際に話を聞いてみると、そうでもないとも思えてきました。やってみようと思えるようになりました!(20代・男性)
- ・研修の受け入れ、就農の援助を手厚くやっていると、とても視野が広がりました。(30代・男性)
- ・田舎で農業をやって暮らしたいという希望が現実的に可能なのだと分かり、とても元気が出ました。ありがとうございました。(30代・女性)
- ・初参加でどこまで具体的に相談できるか少し心配でしたが、候補地や就農イメージをある程度絞ってから来場したので、有益な時間を過ごせました。(30代・男性)

◆2016年度フェア来場者実績: (2016年度東京・大阪開催の来場者アンケートより)

通期全17回・総来場8,352名 (※東京・大阪会場以外の開催も含む) のうち、

- 現地見学・体験に参加した方: 1,506名
- 雇用就農・独立就農・研修入り・入学した方: 285名
《内訳は以下のとおり》 雇用就農者: 100名、独立就農者: 5名、研修入り者: 162名、入学者: 18名
- フェアに初めて来場した方: 全体の75%以上
- 20~30代の年齢層: 全体の57%以上 (属性/学生・社会人・求職中の方、ご家族、夫婦、単身者など)
《内訳は以下のとおり》 20代37.5% 30代19.7% 40代21.9% ※2016年9月東京開催の来場者年齢構成

<ご参考データ:>

※『新・農業人フェア』HP (<http://shin-nougyoujin.hatalike.jp/>) より

若年層 (39歳以下) における「就農」の増加 *2

自身で土地や資金を確保し新たに農業を始めた経営者を「新規参入者」と呼びます。主に農業以外の異業種から転身された方が多く、ここ数年の間では特に39歳以下の若年層の新規参入が増えています。



(参考: 農林水産省「新規就農者調査」)

女性の起業の増加 *3

農作物加工や、直売所での販売等、農業を中心とした様々な分野で活躍する女性が、年々増えています。グループ活動による経営が全体の約半数を占めますが、個人経営で起業をする女性の数も増え続けています。



(参考: 農林水産省「農村女性による企業活動実態調査」)

【本件に関するお問い合わせ先】

<http://www.recruitjobs.co.jp/RJB/contact.html>

コンテンツラインアップ（一部抜粋）

○農業について気軽に相談できる「お気軽相談ゾーン」～4種類のブースを用意～

- ・就職・転職先を探す！個人事業主や農業法人等による「求人募集ブース」
- ・農業を実践的に学びたい！研修生を受け入れている農業法人・就農支援団体等による「研修生募集ブース」
- ・農業を学ぶ生徒を募集！農業学校等による「生徒募集ブース」
- ・全国各地の情報を集めたい！地方自治体等による「就農支援・相談ブース」

○農業経験者や専門家による「お助けコーナー」

- ・生産者として現在活躍中の先輩農業者が体験を交えてあらゆる角度からアドバイス
 - ・各農業関係団体の担当者によるお役立ち情報を提供
(産地や作目など農業知識、就職・転職、インターンシップ、国の支援制度、資金、農地運用などを紹介)
- ※コーナーの種類は、開催会場ごとに異なる場合があります。

○初めてでも安心！ガイドスコーナー

- ・ウェルカムガイドス
会場の作りやブース種類など、フェアについての説明やフェアの有効活用方法をアドバイスします。
(※フェア開催中、定期的実施)

○農業を学ぼう「セミナーコーナー」

- 講演形式で「知りたい」「聞きたい」情報を得られます。
<主なセミナーの内容> ※予約不要・参加自由
1. 「初心者のための農業講座」～農業スタートアップに向けて～
 2. 新規就農を支援する国の支援策の紹介
 3. 新規就農サクセスストーリー「先輩農業者が語る新規就農までの道のり」
 4. パネルディスカッション「今だから話せる 農業失敗あるある」～農業の面白さはトライ&エラーの繰り返し～



昨年度『新・農業人フェア』ブースの様子

『新・農業人フェア』について

『新・農業人フェア』は、農業への就職・転職・独立希望者と、就農を受け入れる全国各地の農業法人や自治体などが一堂に会するマッチングイベントで、社会人・求職中の方、ご家族・単身の方、どなたでもご来場頂けます。2013年度より全国主要都市を中心に開催し、2016年度までに、**来場者のべ31,842名を動員**。国内最大級の就農イベントであり、「**農業を仕事にすることのヒントになる**」「**全国の農業に関する情報が一度に集められ、比較検討できる**」「**農業経営者や自治体相談員など、農業関係者の話を直接聞いて、相談できる**」「**農業での就転職先を探せる**」などとして、来場者の約5人に1人の方が、就農への第一歩を踏み出しています。

『就転職スペシャル!』について

就職・転職活動を始めようとしている方、既に活動をされている方などを対象とした、求人を行っている農業法人などに直接出会えるフェアです。経営者・担当者から、取扱い作物や仕事内容、職場環境など具体的な話が聞けます。

『新・農業人フェア』開催スケジュール

※入場無料・予約不要・服装自由・入退場自由

東京会場

- 開催日時：2017年7月23日（日）
10:30～16:30（16:00受付終了）
会場：東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内3-5-1）
出展団体数：210団体
- 開催日時：2017年10月21日（土）
10:30～16:30（16:00受付終了）
会場：新宿エルタワー（東京都新宿区西新宿1-6-1）
出展団体数：約50団体（就転職スペシャル!）
- 開催日時：2018年1月13日（土）
10:30～16:30（16:00受付終了）
会場：新宿エルタワー（東京都新宿区西新宿1-6-1）
出展団体数：約50団体（就転職スペシャル!）
- 開催日時：2018年2月10日（土）
10:30～16:30（16:00受付終了）
会場：池袋サンシャインシティ（東京都豊島区東池袋3-1-1）
出展団体数：約200団体

大阪会場

- 開催日時：2017年9月2日（土）
10:30～16:30（16:00受付終了）
会場：梅田スカイビル（大阪府大阪市北区大淀中1-1-88）
出展団体数：約40団体（就転職スペシャル!）
- 開催日時：2018年1月27日（土）
10:30～16:30（16:00受付終了）
会場：大阪マーチャントダイズマート（大阪府大阪市中央区大手前1-7-31）
出展団体数：約160団体
- 開催日時：2018年2月24日（土）
10:30～16:30（16:00受付終了）
会場：梅田スカイビル（大阪府大阪市北区大淀中1-1-88）
出展団体数：約40団体（就転職スペシャル!）

【その他、詳細は下記ページよりご確認ください。】

『新・農業人フェア』HP <http://shin-nougyoujin.hatalike.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/shinnougyoujin>

『経営者・指導者セミナー』について

就農希望者だけでなく、農業法人経営者の方も参加いただけるセミナーを一部の日程で連日開催します。農業界の人材確保、経営者育成に向けて、リクルートグループ内共同で実施いたします。（協力会社：株式会社リクルートマネジメントソリューションズ）

※その他、セミナーに関する詳細や開催日程は右記よりご確認ください。 HP：<https://www.nca.or.jp/Be-farmer/>